

学生が描く にぎわいのまちづくり ～にぎわい・つながりのある・歩いて楽しいまち～

今年度、関市と岐阜大学は、まちづくり大学連携事業を実施しています。岐阜大学工学部社会基盤工学科の学生（3年生17名）が、高木朗義（たかぎ あきよし）教授の指導の下、環境デザインの授業で、関市における地域課題の解決に向けて取り組んできました。

立地適正化計画による将来都市像「にぎわい・つながりのある・歩いて楽しいまち」を目指したまちづくり課題について、グループごとに話し合い、事業提案をまとめました。学内での成果発表を経て、関市長に向けた事業提案の**公開プレゼンテーション**を開催します。学生達が考え、取り組んだ成果をぜひご覧ください。



授業の様子

日時

令和4年8月8日（月）午前10時30分～11時30分

場所

せきてらす 多目的ホール

内容

2テーマに関する事業提案発表を行います

- ① まちなかのオープンスペースの有効活用事業
- ② 遊歩道、ふれあい広場を活用したまち歩き事業

※選択したテーマについて3グループが発表

【これまでの取り組みの状況】

令和4年4月14日	テーマ紹介・班分け
4月28日	現地調査
5月19日	先進事例の情報共有
6月 2日	グループワーク 事業計画の中間発表
6月16日	
6月30日	
7月14日	事業計画の最終発表
7月28日	学内成果発表
8月 8日	市長プレゼン



現地調査の様子